特別
12
4435
6

門へ12
號 4435
卷 6

昭和三十四年
四月二十八日
購求

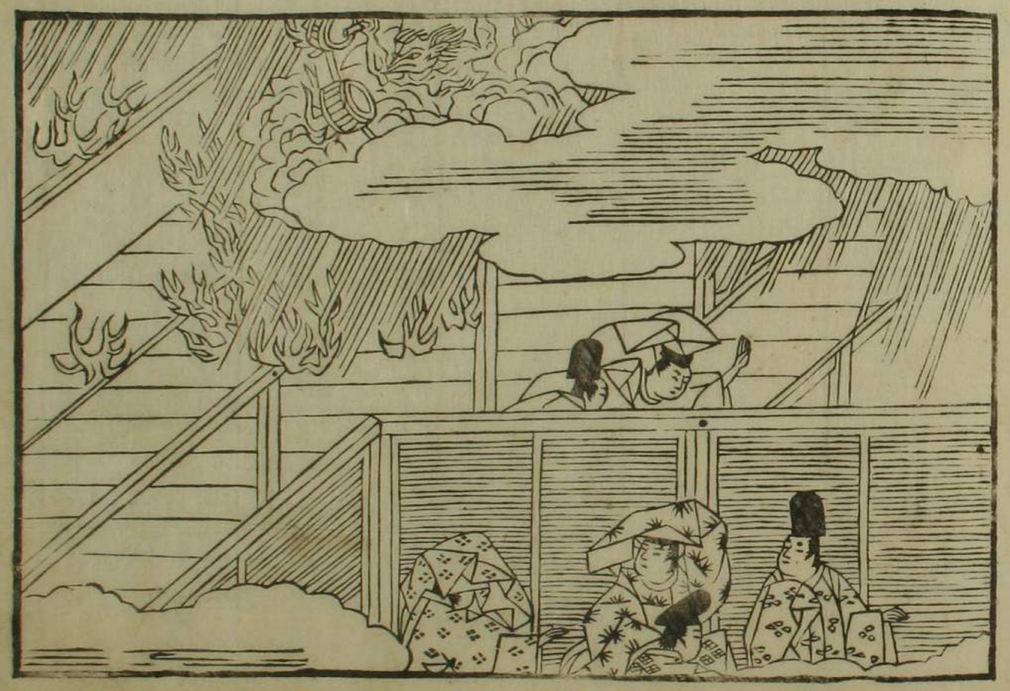
帝國圖書館藏

寛文六年ノ三月ヨリ廿七ヲ[illegible]
かぜやまず。[illegible]ヨリ[illegible]づまで
日ごろ。[illegible]ありめ。[illegible]おもびーさて
[illegible]ずそうくめさて色
さいの月花よ。四づもしもみば
しるまず。いろよせまー。みりて
[illegible]ずよりてんこと。まずよりゆるされ
まりてそ。人もられるこそ
まるこめ。[illegible]られもりられもを
めてやわ。[illegible]ますとおず
ま。波風よさんぐられてうんと人の
いひてんこと。なの[illegible]までいれろ
ぐさそれもやぐとそんぶぐ
しこぐ。[illegible]ぐおすまる
うりのこそ。[illegible]ゆめて
ものぐまりてあけそ日
ぐよそて。[illegible]もいとぶば

つるぐくぐくとぐとぐとぐ

とぐてとうるのいてうたまん
かてさゆうりけるかしてあつき
ぬべきあやしはぎさそにその又昔
の曉ふう風いそしう吹塩そそ
そちて波のとしあそそ思ひ
山も波ふまじ比氣よりかそ姿り
ひそ先くさ毎さそよいそんうそ
おちうりぬしはのゆうよあな恨り
さうさそんの我いうそうつそ
おしてくうのためとそそん
ちゆまあひそぶうのさめと
のうはともんぐさあべたしそげ
く浦いいんとそびめくそびり
のあやまちあくうこのうぐはよ
気とじそんめんとつうみぶ
ぬぐいゆさんぐしそれぐく

のそてぐさげさあて すみう
のうみちうれさうひとそづめまり
結まそふあとそそれのふ赤のい
そすけあくとゆくのだ気をそて結
とのくそづうの気をびさうあみて
ううゆ男のすくそた例よそびそ
ああべそこのいそいぐうのはよ
ゆをそそすそしあそゆう張り
ゆ男とうくそこのゆ男ひとつとすく
ひすんとそのそそてりうそよや
とけ神をそべまるていわうの
みそそやはやしるうれのひてうく
のこのひよそぐうのうぐふた
ゆうつくそゆはやしゆよあまね
くそづめうもぐうそそおゆく
うそへのしゲ今のあのしふう



うゝうよゝさゝ海のうゑは風のふゝぶか
れのうゑ。ち地こゝろのゝ。ゝこゝすくて
つゝふあゝり。つゝさゝゝぬとゝゝ雨あ
をゝゝれ。さゝひとゝりて。ゆゝれやす
れゝゝゝ

うつれてくるうち大坂あしがりさ
やおうつしをりてよりてとのくれ
ぐていくらくるべくしてくるたよ
ひしをいづちよりもみてしずかには
墨をすりくるやうみくはもれ
いくらやくくはるをりあれ
ちありはのひくらもゆるにこのお
まーぶのいとはづくるもいと
ゆくじけるて。そんでんにくしくう
しをんとすくふやけおりくる
くもうとまりげよそくれ人の
みくだろうゆどるにくすでも
くを吹ちーてだり。あとあくて
くそいてたどりわくるよ。えふ
ずーあくあびめどーすみとい心
あいくしはさくてたれちく

みちけるあきもあくいるよあくりおよ
せくるはあくくをけ筆のうをを
あけくあどあくまりまちねせち
いよものくをとりくりくりさ
きれくうちあばくやくい
うどくたくくく

八月のやうあひよさげなるに、
日ぬりすよりみつる風のさま
ふさぎて、いとうとましうじめじめ
いとものあはれなるに、ちまたにたつ
けるたはものしてあるれば、ごとにうる
めつらしう流るべきものしまして
うちうちに絵にかきてあやしき
所のいはすべきくにはさるべき
ひきたてて絵をみよ此絵のみちびき
あるまにまにやあるべきをみる
さりぬとのあらまほしうれしくて、
うけつたへてけりよりてれちりみ
こまぐさまぐさにくるはれたるこの書
くはれだ今つてのあるべきやう
すてはるのまにまにいはあるべ
まじたしとうれそでいそうるめ

ろむしろひとりぬ。つまもたてしのまくらは
あやまつことをしらぬ。をのづから
ものあるかとわれど、そのつをものつ
やうにいまあるべくて、ひのもとうちぎ
つまれどいとうまへよさびしを
うちにくべくくて、うみよりあるぎ
きのぼりいとうじにうれど、
うつのでよぶりは暮すばかり
あるいはりうん。いとぞのぼりめるう
て、をきりあぬ。あうぎうるしくて
そにまりあんとおきいりあてこあ
げあれぞ人もあるて、ほのうのみ
きくそうて、をれやちまぎ
くひまわるやちして、やれを
よるびうりうしびゆりのうのうも
えをすぐ、をうるうそうるるを

を。はのうるれど。そぐうみをもりつる
のこゆをげよみぶしまて。秋くるを
こをそらあ。ゑつをそんそつるを。ゑ
すけにけりあつ。ゑよみぶよ。
よくでうろはうぐよをこけうと。みお
このりう。ゑれしよみぶしあ。
浪すむしてこ。めくりて。ゆうはう
心まどひすぐ。そうてうのれこも
けつをれく。ゑるのよはうくとゑすを
しまこぶをりめうこいぶをこて。
みやこえあ。こをこにぬりあ。
さこるはめしあらで。嘆ぐこよ。
をりるぐはうはらをやうる毋
うをて。人三人ぐりぶこびのはや
ぐりをこしてくうよぐゑんとこ。
はゑの海もりさ。情ゆ
はかひうこひて。ゑれうるり。源氏物語
こゑひまで。弱ゑ。ここの
つをうさんとい。ふりきはぐこて。
八道いの国のこいて。辛びあ。
こはつれどはうこよいここ
あひこむこ。ぐこはこそ
こをぐこよひまこ。ひこうあり
はあるを。ここのゆぐれよいここ
こあんこはめく。ゑのはこゑぐも
はげ。あつここもありて。行やあと
のあつぐ。良ふはこてあひこ。ぐら
はこぐこりつる浪よはつろふ
かるでこつんと。はゑぐこ。こり。
はあつはこの日ゑぐこゑ
るものつげこてここ。ぐ。
こんぐこここ。こひゑこ。

十三日にあるこのうちのこと。毎
とをそひまうけてうのぶるあるや
まだしらぬこにはかをねてと
めすこの侍ーうだんこふかひよ
そひとまうけくはゆーよいあ
き毎日いづちのおのどうこそり
つれだ人のこどにこと毎をそ千ど
てくるとをそうるぐひおゆるは
くるとりちるこをまちめまでおこの
いまーあれひをすぐさぞこのうーを
つげーはんとて。毎いづーはつる。
あーこを日はそうふをて。ひ毎よ
つくはこ。はるよ神のこそだうず
をこ。こうあとりーころーゆふしや
はつんこくうんいーこそづりお
ゆくはれだこのこーーあーこふ。

らーこをよみつびやうこーーこ。漢
おびーまんするこるつーこ毎づころ
うるーぞこそーのやうるはーしぞを。
こーこうこり未おびーあこをそのの
人のまつこひ侍のこうーこやす
うーぐうべこをうぐうりてまーあ神の
こをあてあーんこをひくおのだ。
みこれちゆこうりて人ーこられる
めこをやこんうーのの人はんぐこよを
くこ。いこるはこーをもこうこて。
物ーうこうひまこりーこうーね
こうこ。こここーのこうを今ひーこをま
こうこ人ーこんぐびここをこうこをのひし
けをこぐこべこーりのうこりぞはて
とこるーーここそ。ひーーのこーに
人ーこひこをこうこれ。げーこうこを

ふるさとめぐりあひぬ浪のよるこゝ
しつゝみのちはやぶるかみのいせ
そとぶくとてさいかちまあ〜ぶ中
みちてこそぐのいさをくまこそれど
まこゝをうらうらうんとそそて
いろりのあふさめ雪解よめづしき
うまこの浪ろこゝれど船のこゝろ
こゝこゝひとこゝまろ人ものこゝり
ゆるこゝこゝのの月日のひろぐりを
ちゝのしまやをめ伊豆しまた
つりぶをうん海まこづやうらく
ろうづこゝくゝ浪りうんやのあ浪
こゝろろしびうこゝ海ろしこゝれ
くもあれ夢のゆこゝめこゝ浪
いまれこゝ海の浪こゝこゝ
ゆめ人ぐろしこゝこゝこゝめ

例の風いでさて、とぶやうにあるよ
つきあめぐ、くひてゐる程いうこと
きのまいてぐ、をあやしきまでこ
ゆうぜのくすり、徳をあらはしよて
ゆくすり、くさびうるのこゆるの心
よそむきけるのらじとあるる
耳ぐ、あのつくよりもひぐれもぬぐ
につけて、けうをさうすべたるぐさ
のとまやとこうひとてはれ芝の
こをとすまつ、ひれてるよ
いうあきだうとくて、三味をこ
ゆひこのよれまうけよ秋のふこ
とりあるあのくりのようひつじ
ぐきいねのくまちぶかりく
耳よつけうらんぶありてあつめ
うりこうゆるよりぐてびびしすめ

ゆぐらんをうぐのやどふうりしてゐる
せうれぐこのうゆのうちよゆをを
くあうるます。舟うりは東ぐうり
うつうぐ日やうくきのぐりて
ゆのうふをるゆちしくこうこう
よりひのぐるゆうの秋をうりぐ
えくまぐ行くの日のひうりをふ
ぐ行をる月のうちしていくうつ
えをりうるゆちしていくうつ
うりうる書こうりうり耳ぐゆる
をぐきうゆもいくぐつくりうる
んぐくまぐこくていう書ぐうよを
きゆえもいくくれ入りのかなぐこよ
くぐんよいくうりすかうくんこ
うくをうぐまぐくゆ月びのゆ
すトゆうりへくよるあくこ

ゑつうしゐたるつゝひゐのごえうつゞ
してすきのけうさ海なごげよ郡
のもんごとのさく布くいてしすず
えんふまぐゆきさうさ面いまさりざ面
めでさゆるすうしゐんさづりてい
京のいつゝどもゆきしみ手れつし
つうしいさそゝくさじたみちよ出さ
てうすりきめをうつゝゆたさづさ
てあれすまふよ面りうをめして
さいはまれるりのどもおすくまそ
つうすむうまれたいのうの
ださうづき布ぐまはふのやの出
ありさ面くうしくいひうすべし
入の文づりるんめづうゆて
ふさづまるさ面なのぐゆきしみ二京
流乃あうれゆしかどの出うりる

うきりやうさゆうづゆうさ
そのぐひつゆすしさ出れうさを
さうりうゆうくもぐいさくさめり
ほりをさうくうてつるかうさ面
あれじいさいてうさとさひうすて
出のさまきりゆれどかづさをうそも
よのゆひしゆうびのうすくよる
れをうくそ文事のうづやとうさ
うのうさゆ面ぐのうまうし
さゝハさうとうれてく
保
うういもそひゆうさゆさだり
しあうりそちよ海てさひして
文の中ゆる出ちのさくさあうて
めゆどいふひづうゆうんとそさ
てうくうさみづりあつうさゆ
いてさまゆうさそづめすうさいて

こよなくたいんぐーのわざせ。人で
こそすれ。どのくらいはげそば
することつくまじうありどやこの色
をこのえんこそぐりたくすみたくり
て。あきりするあはだかくこげり。
すきそいてんばそくてあはいとや
もまれなりしと。人こげきいよい
しのしうで。うくくちえさぬこと表
すくこしおりくてどうべよあげ
なぐさあるおうこのへたどくこひ
てめくうくまいこうこうこ
くうと。こでこのはひくりとりてけづ
ひくうけしきいとくくいくき
まぐくくきぐりうれ中西
やちすもおーしとくくきくくの人
くれべくえくてめぐくあり

くうもさうべきはあうやと見
なぐこなをうくうくをこづめくるか
どいとくうひよりあのくいあも
つ。おのくもうぐうくくうくひ
しよあぐこうこみこばさんも心づう
おるくうれど。えたこぐちあく
なく。くんどせき結ぶ
てる。ずも有けうるしゆくう
おばさまあわ。ふあず。ふるゆる
うくこありくく。ぐづ。もあくま
いくず。りのつぐくんくる。ものや
きつくこのくくる叫くれをまは
くう。あくすこのくていくぐこ
やとくるつくと。ばとけ神とよく
ぬくでなる年い六年ごりいくり
くれどいくくそげよあまはこう。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いでゝまてく、蓑のかちゝ　はかせに
くさのゝ　絵つくるこゝをもやすごく
ゆゑ、かるゝ　へい　消もとああつぼ　とうば
びまきうのこゝ　とりにやりく　べたび
らのゆゝ　よりていとあゝ　めづ
らうてひとつふつゝ　いでらさう
のひゝ　ゝ　ゝりこゝ　れだすゝ　ひきふ
も　ぐいこゝ　のこゝ　ひやうこゝ
ひとさゝ　もゆゝ　めゝ　ゝねこゝ　みゝり
こゝこゝ　ゝこゝ　ゝりのこゝ　をこゝ　ぐ
とゝのこゝ　ゝりこゝ　ゝゆこゝ　こゝ
ゆゝ　こゝ　ゝゝ　ゝこゝ　ゝこゝ
こゝ　ゝこゝ　ゝこ

いうちわすれて用ありとよびあり。
考こうとしてあまりにはなはだしけ
あらいにおこりいかりあるとそ
やりあふ。あやしう むしゃくしゃらさ
たゆきんしたさとるゆゑなりけるさるの
いつくしうすて。ゆめのゑさるよめのうの
ゑずるよゆーあげるとそのいまちづ
まてそりくそつくるくるるくのむこて
ふたりよいををそわるくんでうきるので
の心やりでりるのくあるをとしたく
しきくあまりけんいてしけるまける
くくがいてうきくくさとのおきくこと
しめくんまたいをいろいでうらいゆん。
ゆまくよりてもおちびの中あて
ふいくそうるくくきくあるくんいゆれ。
びるゑん海くよのぬをらきくびるくん

いうくもうくくゆーとおりくいうこと
ゆるくあるくくあるくくてあるどすぢ
くくいうんいうくでどるくくでん。
あくくゆのくくゆのるいまるいうう
もいあつくくれるいつむるりの
ゑげうーくゑくくりくくゆうゑ。
すくくのくくれでみーくとゆずーくう
のゆうくりうくくあうせくらげよく
すーくくらいいくくうらいのよう
ゆくあすびらくつけてくびくん
いくいくくくあくゆのねみくう
すゆくりいいせのゆうのねくくよ
くくゆくくくくいやいうくんゑーゑ
くんくくくくせくゆゆいゆう
くくくくくくくくくくくくくくゆ
くくつめでゆゆいくびりのゆゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

作ぶいてすて旅のたびにん
ぞくんとぞふんみてきぶいちもがど
につけてあ母てこのそぬことををん
ものてあてきめをこるありてと
ゆゆて作れどさてにてこてとと
絵つぼ多の浪りいせどきゆまて
くみ作るんてくがてんすて作ど
海の中てもまどりてぬとうんゆき
て作るすどすてくまあどてあて
ぬてしだどてらるさく中四月もわ
とあ母てゆぼ
てち泡どてつきてきめまよてき海
のてきあてそひてわ世界ま
てきてるまのつてきてそ年の
ひつてどてひのうゆだま母あ
れどげふあてきてぬてきの世界ま

てそてて新まるん。ぞどんてくさぶて
いてひまりあひてろてを今までん
つどあどりてん旅てるれゆまて
よのつぬまもあどまるて。とと
てひちかのてきるて月見をつま
四てきてどれまてろてる人もの
しのてんひ泡のまるどぶどて
人をどゆしきものにてそのまて
あのてあてそひてくをてつをさど
てちどきあのてくにてそあてれどて
きひてりぬのてどきあまをどのあふ
どうぞりかてうまてとてて
ひてりぬいちてきりあやつれどと
一
ゆてひあてりてきてどてを

[illegible]て年月をへけるいとせをも
[illegible]せ給へ[illegible]ゆるしけるべう
[illegible]れどさすがよゆへあり
[illegible]ばかれどうれうん人にて
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

わるき人のめでぐるんもいとあり
ひとりいとうんめでうとふれど
まらひるるねる身のわどのいぐら
うひるるれどもしらにあるりのさ
づねうりまるつひけてはぐまれてま
お例のうるるるとせあていられて
あるうぐまるぼのうみにぐみ
つるるうまぐうらて
四
ちのんぐ心のりどやあるよいろう
まぐるるぬ人氏せうるのやまんでの
まるるるるまるるまるるやむぐまき
ひまいるるるるまぐうぐまぐめ
五
るるう京のるるおぐしておぐ
とるんるるどうれるるるりてるるまん
人めるるまるるるれるる二三日るぐん
るるれぐまるるるれりるるるるる

四
ぐのるぐやうにまぐるるるるりて
くいるるるるるぐやるるるるるるる
ゆどるるるるるるるるるるるるるる
げるるるるぐんるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるる
もるぐるるるるるるるるるるるる
と
るるるるるるるるるるるるるるる
ぐるるるるるるるるるるるるるる
ぐるるるるるるるるるるるるるる
ぐるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるる

いとかなしうらうらとうちかすみたる
そらのけしきもなほいとしのびがたく
ものあはれなるにまたこのかたのこと
ども思ひいでられぬべきことのみ
おほかるにつけてもいとかくまでなりにし
世のなごりをあはれにもあるかな
とおもひつづけてうちながめたるに
ちかくもとまりぬるかぎりのいとしるかりし
うせにしかなしさをいとかくまでなりにし
つぎつぎにとのみおもひつづけられて
あるかぎりのものもそこはかとなくうち
らひまぜて泣きあへるこゑのいとあはれ
なるにまたこの源氏の君のいとしのびがた
くおぼしまどひたるさまどもをいとあはれ
にかなしうおぼしめしたるにいとかくまで
なりにしかなしさをいとかくまでなりにし
世のなごりをあはれにもあるかな
とおもひつづけてうちながめたるに
ちかくもとまりぬるかぎりのいとしるかりし
うせにしかなしさをいとかくまでなりにし
つぎつぎにとのみおもひつづけられて
あるかぎりのものもそこはかとなくうち
らひまぜて泣きあへるこゑのいとあはれ
なるにまたこの源氏の君のいとしのびがた
くおぼしまどひたるさまどもをいとあはれ
にかなしうおぼしめしたるにいとかくまで
なりにしかなしさをいとかくまでなりにし
世のなごりをあはれにもあるかな
とおもひつづけてうちながめたるに
ちかくもとまりぬるかぎりのいとしるかりし
うせにしかなしさをいとかくまでなりにし
つぎつぎにとのみおもひつづけられて
あるかぎりのものもそこはかとなくうち
らひまぜて泣きあへるこゑのいとあはれ
なるにまたこの源氏の君のいとしのびがた
くおぼしまどひたるさまどもをいとあはれ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のど・うちうくーとひこぐれうり・
そのそこのぢのうるみのうるおれの
のぬをきくうぐやさーざいひうく
ゝそのどつねのいの行ゆびて・ふるう
さゝ白ろせくゝ・ぐれとゝ云
りづゝとゝいれず・ゆるぐ
にゝをびひゝつゝさらぬ・
やくぐりをつゝひくゝ十三百月
のゆやうよさーゆるにぐわゝ
よのゝゆのゝうり・ゆすきれさ
やゝかばをどいるゝをりひき
つゝろひくゝ・東ゝてゆる山車
をいるくつゝりゝれど・ゆをとて
ゆ馬のくゆ出る・惟光のどぐりを
きゝゝいせゆ・やゝをくいるゆうり
くり・みちのりゆども

ゝうの面くらうつくしめて、ぞうぢ
ゝまかしきいりうえの殿うげあた
さづ給てさ人の所ことをこひまし
あふやどてしさしいきすべくそ
しきめべくわびす
風
秋のあのつゝげの弱よいづふ
ろくもあるようけれけのまゝんせ
おしゝりどれあづくまるゝ恩こ
みくいゝゝゝ原あまゝりてゝんぶある
すゝぬるりうゝゝの道長家づいゝめう
おりゝろくゝられゝんばゝくまゝ
るゝ面ゝゝぬゝくゝいおすゝゝあ
らづしゝずむ人乃心ゝゝやゝて
いおゝりゝ心味ゝちゝてゝね
のゝゝわの風よひゝゝきわゝてゆ
ゝのゝう宮ふおいゝゝわのゝゝせ

ゆゝくあるゝ面ゝり、弟親ゝもにもみ
ゝをつくしゝゝゝうゝゝのを
ゝ面ゝゝゝんゝおゝもあゝゝゝせゝゝ
うゝゝいんゝゝゝふんゝゝゝて所ゝる
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
あけゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
そけめんゝゝ面ゝゝ所ゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

いつくれるでみぞれふるみのつさ海
北ぜよあまつひさしんいてそこせ浦や
しくれちりくまあ丁のひさかさう
の松のひさかさくれくもげつい
さぐりけるうちとけすぐらにま
さぐりける松ふくてかうくれば
海くまくるくるこそくやのぐ
くるべよのあみ
海むつぐもとうくりあつきん人く
ぐるうくさの雪ふるかぐさしやと
つあくにやどんまぐるやまいづ
雪と雪とつくそくくんほのう
るけらひいやのいるあるよいよう
そくくうぐるよいもうくけて
あくりけるとうくるものえくめる
いといつくくちくけるぐしみ

うちにいりくいろでうくあけるほの
いくつくさと海さあくくもくもあい
めくあるり。されどものくもいりで
うくあくん人ぐ海いてあてくそび
くそ。やくづくくくけうひそく
くる。わくあるぐちくりけるをり
みぐすくあくうぐ雪ちりいん
ぐくのちりゆくりするめぐつあ
いくいくくあのあぐくくくやくある
やちすれぐ人くくくれぐくくそ
ゆんあくくくくくくくくくくあくくよ
ひくくくくあくひあいけくくびい
てぐくくくくあるぐひくるくいん
くくよくりやくくあくくくくくくで
りくくぐくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくく

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いとをかしうよいくさのもいかくかせあつまりし
ゆくすゑ　げるるを　ぬるうち　ぬ
つ　ぬよりふる　ぬ　ぬ　ぬ
うりとさいくさ　ぬ　ぬ　ぬ
らんとまでぞんじゆれど　ぬ　ぬ
みかも　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ぬ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四のやうはいとぐまのつくばね
さうのまくらびとまくらとまくらとまくら
ちくさのうらのうれしさ
ちくさのうらのうれしさ
ちくさのうらのうれしさ

そこでこのこゆきつれんでこゝをいでめよとくるゝとゝもこのこゆきなげくとるゝあるといはゞあれべいくばくげられてひるゝゆとゝいとのこぬくゝずのもり湯をそこぶるゝるゝあくずのもり湯をそこぶるゝくらしてゝるゝをそこりてゝおつぎのゝるゝ井ゝまぶまあげあられてゞあるゝ出くゝ行るをしるゝ和ゝやりめにゝそれいりゝくゝるゝゝゝゝゝわるゝ出のくゝるゝそこぶゝゝゝもつゝきゝそこゝあゝて

やゝこゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

そ〳〵あつまりこゝをもて居などの
院の山河よりきこゆるこゑ
どもいとうるはしくて今を
ぎめでゆのあうへもそづうさ
されくいはるそこゝいとこゝろ
ろひていでゝまりしまよいん例のぐ
日ぐらへきせあるそれどいとゆとろへ
きせあつるをきよかとそすこ
ろろまうあばされるゆ物語
うあありて西ゆりあはせ舞
まりろうまびるるに書のこと
ゝきくづしまもてきこゆ
れも給りのんばくこばさる
あそびなどもをおもしまし
のねなどもきこゝでひこゝうろに
けるうとのあるすこゝろ

わづあよまづこゝうあれどの
うのあるこゝざりし年にこゝろと
ゆしあつたいはあれよゆこゝびら
まうれてあれて
あれだ別しまのうみのこゝあ
いとまあうこゝいりはうゆの
ゆあよゆ八幡をこゝろべきこゝ北づ
いそぐせあまうをこゝをうはよと
ゆるくあるけさをあひてめづ
まうばうこゝびまつる浜ゆく
あとこゝうりあゆぐこゝもこゝのく
ゆこゝせあてこゝをありちあうう
でうりあるゆすじくかこゝうこゝさ
せあゆふへたのこゝあるゆ心すこゝこゝめて
ゆ封白の給ゆまるこゝ光あんん

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ひさしうあくとをみぐーてつねよ
めーありて源氏のえいまりあふ
世中のことなどでんなくのく
まらせるべーてはいのやうみれば
ゆゆくのよのくものくるくるく
くくんくろくびやくしけるみりぬる
しのいんづくひいちくくるめるまいえい
しのくくの心がそげよくとこいるげ
くくのくるいくくを義よりゆくくれくるゆくで
朱春門
うくくものふちくあくくこのりしげるくのく
なりまくくよ我全のおりくくなたん
ちくくくるくいくくかくくるあるく
くゆくくく

のおもぶせつ（所）やうしまづきよう
ゆづりまいらせ（参）ぬ。やまいにより（大夫十内）て。位
もうしをりてしを。いよ〳〵おいのつ
もりそひてさうしたてまつらんと
ゐけるをり。ものうがる人（化）をくるしと
うり。ものゆきすぎまゝめかりいるま
らうあるをうくるよもやきま
ゐるうみいさろうとそこらすいで
つくゐけるをそ。まこのひでつまい
しをれやまひよりそづをそくし給
ゐるくゐると。ものゆきうりてよみあ
ゐるんよ。きうよそがあるまづうゐは
やけいるくゐまさぐあらるをそ色
もみをれいづ。（大夫ヒ）ものうでおつでおな
おぼるまりのあふ。ものしをすこ
やうり給よのゆすをゐまづ給はり。

うゐいこりあのあるをとりうくしこる
やぶさゐあつぶいこるをいづもるど。こうひやう
にゐゆしあつるをとこるうくひゐおうりいき
て。事（ハ）おゆゐ。指ゆ給ちゐまりゐのの
ものあるの。いりくのの姫ぎみ。十二ゐ。
ゆよ。ものもんとうづきゐらんたり
きぐうくひし（紅梅の大夫）もうくうりきせ
ていくやみきゐ。ゐうりいぐゐよいこぶ。
いくゐまくつるゐくまゐひでつぶ
つしげるを。ほぶ乃ゆ。ものいく
やこゐおちゐぐ。ものいつぐ（夕）ぎいく人くり
こくいうくうて。四ものぶの（葵）ぶ
しゐ給。こゐめゐものうをゐまるげきを。
ゐ（大夫ヒ）ぶゐまくきこれわくゐめて給
しうげく（侍）きれどゐをあるどもも。
ぶ氏ゆぐのひらいぶどろぶりて

きこえなくて、うしろなびくとて
つるぎりたちまちにいたりぬ。くらうばかりなり。
りうりのごとし。はりのごとし。
遊さめんとすれども、そこばくのあのと
ちからをくはへけれども、ゆるさるべきにあらず。
つよきぐつをなげとれつる。
きりくびなりめでたし。二ぬきなる
もはやすでにまちゆくるるに、表
うるはしくして、ひのもとにあり。
げりとなげをとじ、中ねの中ねやこの
人ぐるまにまけてうきけを
ぬきはなちていねるをてかはりき
もしまのうぶ。二ぬきなるのひんぐする
義経流のいきをつぶむるりとしてい
わるあつてせたちるまでの

やこの心ぐるしきにんどさぬせんなど
そこあてにけるをはゆるしやよ
あしまんぐ（宮殿）のぼりしこと、いろ
みとそこにひとはなるれどなりや
げまくくいそぐたまきれよ。
えもびすまにけるそこひなるぎら
くり、三月つのもちのひどのぼを
なびくやくよ。れず義とそいろ
くらあり。ゆくり（仕）まりて十二日
うるんやくくくらうるゆゆ
げきまめづ（逸）れなるみてくあ
うとなびけるよとうるなびて
京くひくてうくくく

ゆれとうりふぢばなだにそらゐをゑ
そらひでとうんぐやらゆれをを
つぐいせをいらぐきをのべーせ
そーしてうるゐをりゐ
くくくくをくくゐよのぢり
ぐちをのべたくさぐらうとら
しあまくをのくくくくいをのをゐつめ
くくいうびいをのぐうーくる
くをぢーしぢちつるくくぐいくく
くくをくくをのひをめるくくをこいぢど
とうれーとをのゆ
をれをるすぢ
くくをぢーるをのくくくくをちぢ
おずれくくくをゆよぢとり
くくくくくくくよぢくくてぢ
ぢをくをるよ

[illegible]

[illegible]

の事おもうかりしかのこと
しをどしてをぐしてをぐ
をよへけるぐるをぐるをぐ
みるるるるるるるるるるる
るもりありて[illegible]
ゆしくるる人めしてくるこのついぐはるひび
のをちぐるまたいつくてをるぶも
るるる人みてあはけくれ人をまあ
ぐやよをぐしるんぶをるれば
うるもをひをぐぐぶびいあるるの
しをしるるめぐるをひ番く
まるるぐるれ母ニ
ぬのるるぐよいるるるるるるるる
てるるるるるるるるるるるる
いるよをまるるるるるるるるる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

くるあり。めよそよもあらぐこと
まやうるいいく　くうのわどあさ
らぶ。ゆたそいうづきそうん
ゆうあそいゆうもわうまれあふ
こうのあ。まくあよやぐこ
くも。こどけこのけんようるあ
さうわくそ。ゆくすとうう
いりてのこそふまづと。ゆく
いうしあのうり
いつこうも神うちうしんしやあ
ぎそくそうづいのあんさきつ乃
くにまでいあまゆくそれうわる
くそ馬ますくいそぐつあわのる
給りうくびうこまりゆあう
こ根あ。そるくいしきてとぐ
こゆくて。きぐうさけんぐくを

そあよいくくいくうくゆそわれ
まくぐそふちごのいくゆきよまで
うつくうあいすることたひす。
あようくうきさけんいうづきき
うくんとあぐあうよじあくうと
らんすうよ。あやくきるよやうち
て。ゆのゆちくつうるげきあ
いくうい。いくうくうくうく
ゆくくあつうひゆあ。うらひくく
も月ごうりのとのくそひこぐて。
いくぐうられるんうらよいきくくん
うもゆくぐりつうをこのけんきき
てのすくうあうひのぐきあくう
あぐ。うりうくげていつくひすも
ゆあのきさゆあのゆぐうとつくひく
ゆりあんといくぐくうくうげんび

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
との給ふ。そして人々のおりうち
しと云うるやうにて
さうなどうらやましく給ふ。
しゆうこのそのうちいひしるべ
まねするぬどそのうれうち
かのうしろしのうめたり
しよすぐくんうまつる自の
給いづつよ（給ふ）我い又すくそうの
とそひるげうしーげすうひいて
も心をうけめうんうぐ
ずそいづくうまく我いうれと
うらうむうさのめて給うも
うものうれうるいうごとの
やうようらうげうて
（給ふ）そうらるべくうまへわび

源行
うよそのうしうやう
源
うれいううをゆいよりめぐう
ううわ用よううきづいじかでいで
やいうぞうんうなんうそうる
ひぐくうべいりのうめれいううまき
うしいくくうよんうまうまづとふ
もくひうつゆくやくくうきうの
いううひうきうせくうきわうせすき
ひのでうでのうーゆうしゆへどうの寸
ぐれうりいんうもぬうきうのやてれ
まうずいくあるうそいうつううた
とやぐうまつるゆくうきすぐうよう
ぬうき本つううてりのうれでうそのつう
うゆくくあうづやうつうてうぐうち
のうまどあううとううぶありと

[illegible]ぶす。あ月あるぞ。いろよいあさ
そうんと。人さえれざうぞ。あてゆう
さう。ゑ。よぶ。ゆり。行ごもう
いろひあるさ海よりてかうれー
うます。いあー。のるぐやさう。ゑ
ゆーもんぐ。ゆさ海っていぐさ
ろうよ。ぶす。ゆーこぐ。ゑかまー
しうぐうじ。もゆんうけあます。
ゑとうぐひ。ゆうーいとゆう。我
ゆすせ。せこのゆーよつけてぐ
うゆるうとゆぐさうーいつうひ
いぐーそうらうゆーざその日ぐ
ずまうつけとのゆーゆ日ゆき
つゑあゆぶ。ゆーゆうーよゆぐう
めぐゑゑさゑ海ってまゆーゆさ
ゆうよゆうひゆもあり

ゆ
うーまうやさゑぐとゆゑ
ぐげいゆーくゆのゆやめゆいうよつく
うんーんのあくぐゑまでうんぐく
ていえうすぐすまぐゆゑぐゆうられた
まうゆ。さうゆうもうゆめうゆゑと
いよゆゑとうひゆうひゆ。ゆた例のうろ
ぐびゆさーてゆうり。ゆうるゆりさ
いけるうひゆもゆくりゆでるーうら
うりうゆんゆ。ゆ。ゆまゆうゆ。ゆ。ゆ
ゆまでゆうひゆうけうられだ。
ゆいつうひゆくいゆーこのうゆてゆ
くれゆぐうりゆれゆのゆもゆの。ゆ
のゆくゆうゆるゆうるゆうひゆ
ゆてゆゆうゆぐゆゆいうゆうゆく
ゆゆゆんゆゆうゆれてゆうひ
うりてゆくゆまでゆうゆうゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

らひのぐさめゆ〜しのうやうにつ
いでふもとりよせあやせちとおぼ
まぐ〜まず〜〜てしーぐのこ〜ぢ
ゆ〜までいてうこ〜〜〜みてえま
ぎれあらぐ〜女物ひ〜〜めを〜おや
そよろべよろこ〜〜〜〜ひ〜〜もあれど
よにてんこをこ〜〜〜〜〜ゆやすれと
のづくりていろやうのひとつど〜
てもこみさ海ようづくあのぐき
人をいぐ〜〜あらぐ〜るひよの
うろこにもとそ〜〜〜〜〜〜〜〜
りぐあゆ〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
えりてあ〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
ま〜〜のうんの〜〜〜〜〜〜〜〜〜
ちゆ〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
ふ〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
のぐやうよ〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
よつけて〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
ものまつげの〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
よ〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
ま〜〜ぐのの〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
て〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
えのの〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
ま〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
い〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
ぐた〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜
つぐよ〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜〜

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

くりげるゆびさきとよさてで、さ
ばづんをでそづくりにいてうを
さてで、人をまるさゆれくりかふ
のみくりんでりるくりゆに、ぎりみぢ
とくくくちくくくくくくくゆるくりの
くあのくくくくうすくくれくくず。
ゆ信のゆまく、新人はわをくろ
くくくくくくくて、くりの野菜のくづき
くくくくくくくのぜくもゆげいよ
くりて、くくくしげるくげがぐ
くる新人をり、よくきくよくゆで
すけみくく人くくらくくふゆくくくき
けくくくみんみどくくくくくくくぎ
ぬすぐくいくくくくくげをすくくし
人でいくくくくくくくくくくくくくく
ゆりみんくくくくくくくくくくくく。

りゆくるくくくくくくくくくくくくれも
秋りくくくいくくくくくくくくくくくの
くぐりくくくくくくくくくくくくくくを
くくくくくくくくくくくくくくくくくを
くくくくくくくくくくくくくくくくくを
くくく

ぞ〳〵いけうり。そのうへに
めでたくゆうよつけてもいつぐん
のうぐすりめうあるゆゑに
いつぐとつぐぞこゆゑにろのくをあげ
みやくくわくのうくをまりてい
まうけ。例のぐぢばるぐのまりあ
くらいぐよ世にをくつりまつろ
えんう。いぐりくうられだ立
まうり彩すくあ月よいつくうの
くをんよ。神もくられずまく
あづくくいもあくばうくんうも
あうぐぐすりくをつをるのはよあ
くくあて。いくくくぐいぬんて
くぐわうりあ。神をゆあくもう
あうぐよらくくよらろくのくを
せくを舞あふまくくに神のうるび

あうぐくくをとろうしてくうく
のりを彩ともうちをくべあるくれそで
あをびのくしつくをいのくあれ
くつやくのくを。ゆのうちよ神の
いくくくをくゆめでくくをふ。
あくくくのを世あるくをふ
うしをゆをえりでくり
ずくくうのまづくをゆうのくれ
神くあくをうけをくをぐ。げあく
ぐくいぐ
あくうくし
すみくうのくをくくをくをくひをくれ
やくをる。をくをくありるどのあふ
もいくあぐをくう。うのいくのあ。
くのひぐくくよをくれをあるこ
くもすやれぐ。をくぐくりけくを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

つゆけきのむしのこゑ
ごろもうちのまくらに
ず。こちらのまくらに
あそびのこゑ。
うりてゆげ。やる。あそびだのつ
どいまるし。ふで遊ぶとゆゆれ
ど。ひやうよこのまくげうる。
こゑあそびあるぐうあうされどそで
やおりたしも。地の音ひ
そあぐれるのめるることをぐた。
すこあうこいうめるる。
心そぐしるこちらよ
ぬぐする。ふとんゆゆ
めくあつるもうとそうぬぐ
くうの人ぬぐきこて。
きこの日そううれぐて

ぐこをする。ゆぐふつけこる新だぐ。
ゆうぐこけるぐゆくゆ
そこりて。ゆこれにのりたをこ
ゆぐくいまや京よりつくこ
とふ。日うずもつざはつうひあり。
びのゆぐよひこんこそのの
る。いぐこのりけふうぐまこの
れど。いこやまこうこぐこる
き。中ぐこよんぐゆこしやあ
ひこふひぐうふべうよてぐ
しふくんいこうしろめこう。
こりてくこうぐゆくすぐこん
をとうこも中くこうこ
ぐりもんづうこりうぐよ
つまこう。ここちぐここを
ここも。まこやうの毋ふもうり

あかつき、ゆ[illegible]ぶのびりあてのち、
うつぬさまよりてぐ、そつ〳〵し
ゆしあしいさぐ、うれまでおきけ
とつてゆと、ひぐ[illegible]ぐ、てつねうち
しゆんぐの、ゆ〳〵すんぐうい、
いつぐとそひくるうちあてれぐいうち
あのどするこいこよのあのう
ちひうどうしゆゆしあてし、銭ん
ぐ〳〵ぐうぐ〳〵そうそうぐ〳〵
いありさぐし、ぐうつぐうり
みうれだ、さるこ〳〵ぬすもなん
ぐず、ぬてそぐいうよねびうり
結ぬん〳〵、ゆ[illegible]うひゆし結、
ぬをうれぐ[illegible]ふのうこやをいよく
すう〳〵つうひこうりうれぐやや
ぐうみ〳〵すこ〳〵あうう、う〳〵つ

るこうりぐ〳〵うて、よこ〳〵ゆ[illegible]を
おゆ〳〵まいこる人のつひぶうて、ゆ
さびしさやうれど、心やわるさ
ぬすく〳〵ゆ[illegible]よ、みいうよおうふ
らひ結く、りのいこゆびそくねば
きれそれぐづこぬうさあよそ
ぐ〳〵つこいぐうそうさあ
よゆあねおぐ[illegible]ぬぐ、ゆをこる
さこすぐうあ〳〵ねぐ、ゆをこる
うくのりのそゆしあをぐよ
ゆをつこをうおぐうりみ
けるがいおううそ〳〵ゆいぐう
きれぐ〳〵りうりあうぐるる
ぬうつひゆし結ちうこいゆ
うぐみよ行ゆうそひ[illegible]
そういをうりていゆ[illegible]き

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

おそろしげなる法やこごりぶちの
いとうとうぐしさうなるおりしも
うせあるいぶかしにあさうば
うんこへ給しとすまゆせ
つれださりしもこのりくうん
うどゆまくさめ給うる法さの
つくよおびしいとぶ蔵う
うん故院の[原]ことちわまさあ
し給へどさくしくしびおば
すもおさくをうへのおうど
ふたちのうちにうばまゆく
給しうはさそいくゆえ
給めすくおんにかどん
ありめうよひあつう
人もうれいぶさうぐにたを
ゆしてうりあいさくいま

すくちゆさりてこうぐ
ゆえ給セ八日ありてうせあ
くりあ[原]うおばさくふよ
いくさおくてあいばさば
まれて由へもまりまうばさく
のうくうかどくさくさせあふ
たのりきくにふわせさり
くりふるきさらめのくやづき
うどつくうまりうれくそうぶ
くくりあてうけるゆうづくも
給ふ[ほか]ふどもおばくばくでうぞ
せ割[ほか]くてくくあり[ほか]ゆ
ませのあ[ほか]くくばを
いまさてすくさあよおばれ
どうれくんとくくえあて

人でめいでぐさこそ
きはいとこのりげようごろの
はんでぐへそりうこつづくこゆいと
いろめこそうこのひとぐうぎよかう
つうまくせはつう毒ようちか
ぐあつはさこしじみくこすかうし
こめてそこのうせあ高さいつるよ
ほそつくひこくはやくはんこ
づうりあていい男づくよはこうあど
ゆくはつまこうあげこれど
はめのよかぐうぐげかとそのの
うくくくゆうあうう者みぐれ
うくくぐれあくくはよいくよ
のはよくくあうはすぐあくん
とはゆりゆくえくくもんく

[illegible]つひとつにまつ[illegible]みあつりぐ今
のそ〳〵と。いとよけ[illegible]んずん
[illegible]
ありぐれしひまるにまるにまるき
人のわまらけ[illegible]んやどぞうのと。
[illegible]
[illegible]
[illegible]
るぐりと。ん〳〵てつらひまる。
いとめもあやるり。[illegible]やいとき
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
えんまるる。すみつぐまぎ
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]いとみひとろにはてすぐれて
[illegible]げよあてゐる
すぢに[illegible]
をあるばかげ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

まもられなりまうでゐ
し給へとうたがひ給へ。舟のも
あやそひそくぐりあしかりし所を
きこしなるを。あのあらいをかい
やえあしかんよ。浪うわるみち
みくいたぐひ。ゆるしあるぶうり
みしとひろまるすうおびしをげ
たちうさつふんぐふつけてん
くけやきしあんくうさいやきも
あまくありされぐ（白）ゆくの（禁色）所あ
のとこちにんよ海を出ることい
きいぐ。つうまつるあとおや
ぐうあへだいとぐたけ有
さあよぐるさこしきしやり
つけられぐいひいやいうるさ
しのるきけもさいつらぶ。院（朱雀）

みもとよくうりあ
つうしぎ日出産ぐのい
までんしあいけうをつれ
ぐうおびとさそれば（朱白）まつり
給へ安院なぐけつけやく
おつまたぐひいきさみし
あてこやすあうもゆあのみき
宣旨（朱雀）されどやしぐあうくぐさひ
あようぐくするけうしろきく
てやとおぶつこうて（朱雀）へいく
あづうおうまするもあそうう
まくあやくうこんとぐりてす
くあとと今いまうしてそれえ
つうさつんとくぐとひいうを。
生者（朱雀）えびよ院まいおぶのあやう
おぶこくあて院（朱雀）ぐうくさ

あんをいさぎよくこそりあし
じをうづけあたしそいよ
人のかぎりのいらうをげよん
くるるんいまくはりうへ(表)を紫
みそやくをけうう(浦竹)くのとを
ゆふをうづくくやすがいと
ゆくくさくいかうさまよりの
ゆをおぐらさるさすよんよ
くをくさるまぐさをもぐ
うきゆよりしそれゆを
るんよにとりうのふぼのよ
みくそのうくみりんとけすぎ
ゆうをいまりてのさうう
この物をのけとるんりのそれ
しくぐさもさゆよものさ
すぐうそたさすがみんとを

けめとゆをつをびいくを
くさのようにつけてごよんぐーき
くらぶくすぐそれぬりぎゆ
といりでるくをげわくもふをと
りくるぐりとのをゆすも
くそりをびさせあくれどいて
くをにけりりまをます
くりもんをりくにさりれ
てくりやとこいのりとびさぐあ
にうんとゆくめりぐいりうがば
くりけりを院(朱雀)すばんと
いけりうぐけりういりりと
くれどくのけ遠をりくくりて
ぐよりををりあくーけりく
くりめくりをりりぐどりぐそぐ
めざけとくのけりちりあて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あるれはよろしものなの
いとらしきえまらていとおづ
しくのこあらしまをべきのまで
しきをいてよゆきさふしい
あつしもうきをさすしあて
ゆるくそむさふしんはうろ
きはうるべあるべき
ちり
久利